

平成22年3月6日 自主研修会について

平成22年 3月 6日。

フォー・ネクスト おおにし さだのり 大西 貞則先生をお招きして、

『思いを伝える授業をどうつくるか ―授業作りのポイントとは―』

という題のもと、研修会を行いました。

子ども達に分かりやすい授業をどう組み立てるか、その授業をするためにどんな資料が必要か、担任の先生とどう協力していくのか。

そういった授業を行う際のポイントを、丁寧に教えていただきました。

1時間半の講義をうけて、授業作りのポイントを学んだ後、「朝食」をテーマに小学校 低学年・中学年・高学年・中学校の4つの部門に分け、各グループで授業の簡単な流れと発問の仕方を考えました。



以下は各グループの考えた授業をまとめたものです。

●小学校低学年

例1)「朝ごはん食べてきた？」

紙しばい(絵カード)。物語の中に引きこんでいく。

クイズを間に入れて『元気が早く起きるためにはどれがいいのかな?』

『なんで朝ごはんを食べるといいのかな?』

『毎日食べるためにはどうしたらいいのかな?』

目覚ましスイッチの働き(頭・体・お腹)

例2)「早く起きて朝ごはんをしっかり食べる」

朝ごはん食べてきましたか？

朝ごはんの良いところ

- ① 頭のスイッチが入る
- ② 体のスイッチが入る
- ③ お腹のスイッチが入る

どんなものを食べてきましたか？

(パン 牛乳 やさい 玉子 …)

いろいろなものを食べてきたね

残したものはないか？

どうして残したのかな？

時間がない⇒早く起きることが大事！

↓

早く起きて、朝ごはんをしっかり食べてくる



例3)朝ごはんを食べたか聞く

食べた子と食べない子の紙しばい

頭のスイッチ、体のスイッチ、お腹のスイッチを確認する

例4)目標 ①朝食の内容に触れる ②子どもに朝食を食べてもらいたい(生活習慣)

知識 食べないと元気がない 「自分はどっちかな？」

↑ 2択や2人の対比で考えてもらう

知識があるとき 「ケーキと野菜サラダどっちが笑顔になる？」

↓

「なんで野菜なの？ケーキのほうが好きじゃないの？」

資料 紙しばい

食べなかったとき → 「どうして元気がないのかな？」

朝食を食べた子と食べなかった子 ← 2人を比較させる

食べた子 → 食べなかった子(問題点：2時間目にガス欠)

「どうして元気がないの？」

「いつもは外に遊びに行くのにどうして行かないの？」

(全員に)「どっちのキャラクターになりたいの？」

料理カード 絵があると考えやすい。

「お家の人と一緒に作りましょう」

知識がないときは ワークシートに当てはめていく

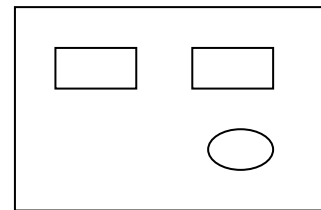
色をつけておく

自分の経験のあることを考えさせる

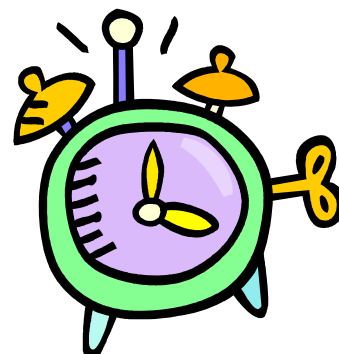
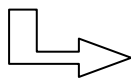
想像させる (前日や朝の様子)

「どうしていったらいいの？」

お家の方に「今日、こんなことしたよ。」



- ①怒られたから
- ②食べる時間がなくて食べてこなかったから
- ③寝坊したから



●小学校中学年対象

例1)「朝食100%計画」

(早ね早起き朝ごはん 生活リズムの大切さを伝える)

朝ごはんを食べてこない児童の理由を調査する

食べてこない児童が食べられるようになるにはどうしたら良いか、みんなでどんなア

ドバイスをするか考える

例2) 「朝ごはんを食べよう」

朝ごはんの文字を隠しておき、キャラクターを示す

〇〇〇〇を食べた人



元 気

エネルギーいっぱい

授業がよくわかる

〇〇〇〇を食べていない人



元気でない

フラフラしている

問題が良く分からない

〇〇〇〇に何が入るかクイズのように聞いていく(自由に答えさせる)

(予想される子どもの答え ごはん、パン、肉、魚、野菜、果物、朝ごはん)

担任: 「全部正解。朝ごはんにいろいろな食べ物を食べるのが大切」

これだけ食べるのにどんな生活をすると良いだろう? →生活リズムの話につなげる

例3)元気になる食を知ろう

朝食についての実態を話す

①朝食を食べるとどんな良いことがあるか(子どもに聞く)

②学習課題の提示『元気になる食を知ろう』

③朝食を食べるとこんなことがある(4つのことを説明、教えて理解させる)

ではどんな朝食を食べればこんな良いことが起こるか

食べ物のカードを使って個人作業→黒板で再現(2名ほど)

(赤・黄・緑をそろえるといい+水分をとる)

内容の良い朝食をとるために (朝食例の提示)

※どんな風にしたいか①まず食べて欲しい

②その内容を充実させたい⇒自分で変えられるか?

できる人はやる、家の人に頼む

例4)朝ごはんを食べるために早起きしよう(早寝・早起き・朝ごはん)

絵を4枚くらいに絞る

(発問)どうして朝ごはんを食べられなかったのかな

朝ごはんを食べられなかった理由を聞く⇒いろいろな意見を基に食べれるように

はどうしたら良いか子どもたちに考え

させる

子どもからの予想される意見(食べる時間、食欲がない、寝るのが遅かった)

最後に おうちの人に頼むこと

自分のできること(目標を書く)

例5)親に食べたい朝食をリクエストできる子

担任の先生の朝ごはん(悪い例) 先生に体調はどうか聞く⇒考えさせる

「これでいいのだろうか」

「先生に元気でいてもらうための朝食を考えよう」

グループごとに先生の朝食を考えさせ、発表してもらう(朝食例と思いについても発表)

先生にどのグループの朝食を実践できそうか問う(時間やバランス面で気付いた事を発

表してもらう)

栄養士から「望ましい朝食」について知識を教える

子どもたちも授業の感想(分かったことやこれから実践したいこと)を記入してもらう

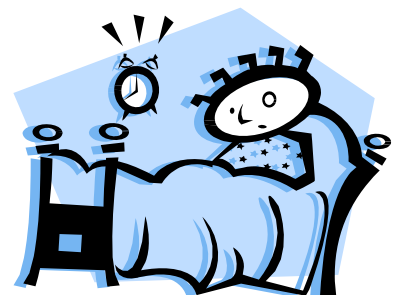
●小学校高学年対象

例1)自分でできる朝ごはんのおかず

※今日の朝ごはんを書かせる

導入 : 実態のグラフ おかずを食べないと脳が働かないグラフを見せる

(川島隆太先生の知識)



テーマ発表：自分でできる朝ごはんのおかず

グループで考える、よかったグループの発表

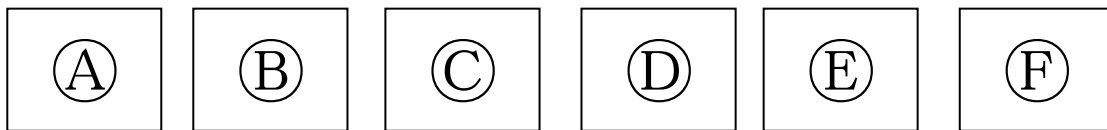
宿題で朝ごはんのおかずを作らせる(家族の方にコメントを頂く)

例2)朝食の食べ方について考えよう

知識として実態調査・朝食欠食率を示す→『ほとんどの子が食べているね』

「どんな朝食を食べているのか教えて」(発問)

朝食パターンを提示



実際にどれを食べているのかシールを貼る

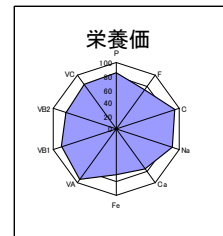


理想の自分が食べたい朝食はどれかシールを貼る



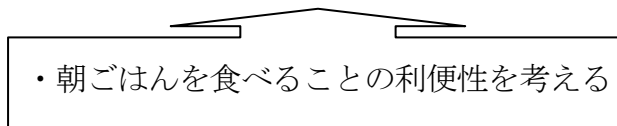
理想と実際の差を考える、栄養面を見てみる

個表を作って自分が目指す朝食に近づいているかどうかを見る

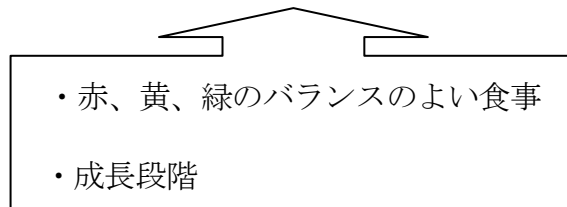


例3)家族のためにバランスのよい食事を考えられる子 (子→親)

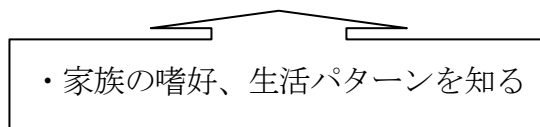
(発問)どんなごはんを食べたいか、家族のためにどんなごはんを作ってあげたいか



グループ・班などみんなで話し合い、どんなごはんが体に良いか考える



1人1献立朝ごはんを家族のために考える



保護者から感想をもらう

例4)山の学習の料理を作ろう

今日の朝ごはんの内容を聞く

理想の朝ごはんの写真を見せる(良い献立と悪い献立)

(発問)どちらが良いか聞く→それを選んだ理由

(グループ活動)あらかじめ料理の写真を用意しておいて、足りないものを悪い例にはる

(発問)なぜその料理を選んで増やしたのか



例5)家族に作ってあげよう朝ごはん

(1)先生の朝食を例にバランスを考える 例)パンとコーヒー

- ・どう改善したらよいかグループで話し合う →発表

(2)バランスの良い朝食とは？

- ・6つの基礎食品がそろっている
- ・主食、汁物、おかずがそろっている

(3)自分の家族のための献立を考える

- ・作る時間と手間も考慮する

◎家族のために日曜日の朝ごはんのメニューを考え、実際に作り、食べた感想を書いてもらう

●中学校対象

例1)朝食バーチャルツイッター(ツイッター：インターネット上で140字以内のつぶやきのこと)

例2)朝食をテーマにしたカルタ作り

例3)目標「自分で選択して食べられる子」

流れ：予めアンケートをとり、表にして授業の始めに提示する。それを見て、グループでどう思うか考えさせる。問題点と改善点をグループで話し合い発表。

朝食としてどんなものを食べるとよいか考え、作る。写真を撮ってきて結果発表。

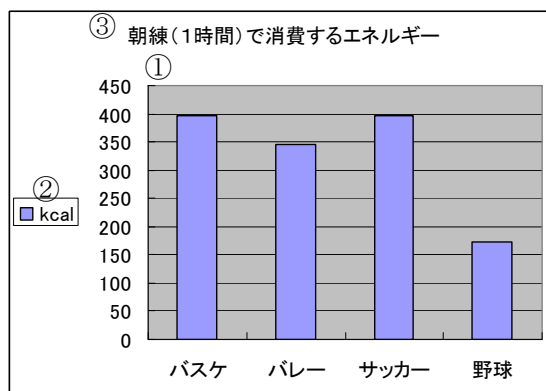
家族の感想も。

例4) **このグラフは何だと思えますか**

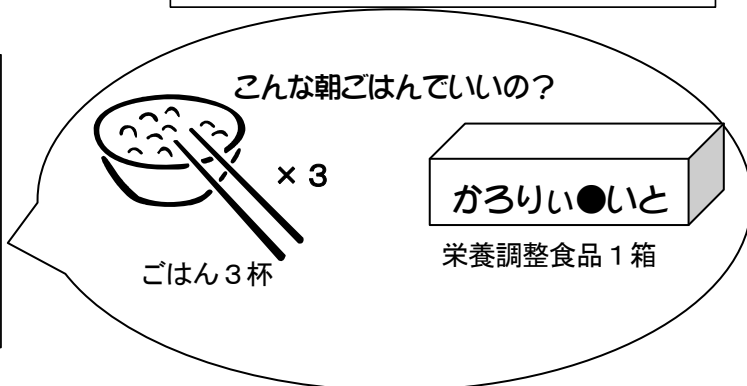
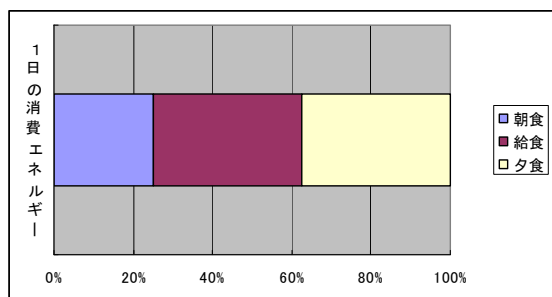
① グラフのみを提示。

思ったことを教えてください

ヒントとして②凡例と③グラフタイトルを貼る。



中学生はこんなに必要



どんな風に食べたらいいのが、

考えてみよう

ポイントを伝えて考える

例5) **朝食を食べよう**

今日は朝食を食べたか尋ねる

朝食は必要か尋ねる

どんな良いことがあるか知らせる

資料の提示

スポーツ選手の話

図(サーモグラフィー等)や表(学力アップのグラフ)

理想の朝食はどんなものか?

自分のレベルをチェックしてみよう

パーフェクト	3色、バランス OK! パーフェクト!!
レベル3	2色、もう少し。
レベル2	1色、バランス不足。
レベル1	食べない。がんばりましょう

自分の朝食の問題点を見直そう! 1つ上のレベルを目指して改善してみよう!

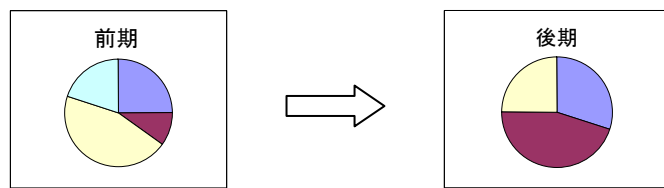
例6)ふだん朝食を食べているか

朝、部活がある→時間がない 3年生は部活が終わったあとの9月頃～塾に通う。帰ったら10時や11時。

パンだけごはんだけではなく、スープ(みそ汁)・サラダ(煮物)などバランスのいい食事ができるように生活が変わる3年生をターゲットにする。体の変化もふまえる。

生活リズム・・・起きる時間、寝る時間(前期と後期でのちがいを)

1日の生活



時間がない、食欲がない

どうすればいいか 食べている子にどうやっているか聞いて言ってもら

サーモグラフィー
グラフや成績の表 見せる
(実際にこういった生活をしてどうなっているか)

3年生になると保健室の利用度が増える→朝ごはんを食べていない人が多い

担任の先生に生徒の実態を教えてもらい、『一緒にやりましょう』と声かけ

授業後の確認をしてもらう 例)先生の朝ごはんを言ってもら→生徒を身近に感じ

やすい

授業後のフォロー 例)たより、学年集会

例7)朝食欠食0を目指す

今日の朝ごはんを絵にする

食べたとき、食べてないときの違いを聞く(想像もOK)

体力テスト・学習テストの朝食の有無による結果グラフを示す

主食・主菜・副菜・汁物の説明

自分の朝食はどうすればよくなるか考える

料理の絵(あらかじめ準備しておく)を使ってよりよい朝食献立を考える

次の休みに家族のために作る →写メまたは絵を書いてくる

家族の喜ぶ声を聞いてくる

例8)朝食を食べることができる子

朝食を食べるといいことがあるんだ!と気付くクイズをする

食べていないA君の1日の生活を貼り、生徒に問題解決の糸口を見つけさせて発言さ

せる(自分だったらこうしている、自分だったらこうしてみたい、こうしてあげようよ、

というアドバイスなど)⇒具体的に動き出せる、実行できる内容

ぜひ授業を組み立てる際の参考にさせていただきたいと思います。

この講義には、『授業』とは、知識を知っている子だけが活躍する場にしているのではなく、子どもたちが自ら進んで考え、実践できるよう、一人一人に目を向けて、声に耳を傾ける場にして欲しいという先生の思いが詰まっていました。

中でも、子供たちの発言を求める際に『言って』『なぜそう思ったの』ではなく、『聞かせて』『教えて』『それってどういうこと』と外化・思考・行動を促す言葉をかける、答えが自分のイメージするものでなかった時に、それを否定するのではなく、『なるほどね』『そう考えたんだね』という受容の言葉であったり、『ありがとう』『いいよね』や賞賛の言葉をかけるように教えていただいたのが印象的でした。わたしたちは些細な一言で、子どもたちの可能性を潰してしまっていないでしょうか。自ら気付き、考え、実践する子になるように、自分の答えに自信を持てるように、そっと手助けしてあげる授業づくりが大切なのだと気付かされました。

この他にも、すぐに実践できる内容ばかりで大変勉強になりますのでぜひ、自主研修会に参加して自己研鑽に励みましょう。

